2019年（令和元年）
12月24日
（第三種郵便物認可 昭和23年4月15日）
（毎週火曜日発行）

今号の特集

▷レンジ対応食品特集 ④～⑤面
▷ヨリマチ伏見オープン ⑥面

中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】

「味の素®」は、うま味調味料です。さとうきびの糖蜜を発酵させてつくっています。

第3354号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5－18－9
電話（052）571－7116代表
FAX（052）571－7118
東京支局
東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話（03）5614－7531
FAX（03）5614－7532

中部飲食料新聞

大正から 食を伝えて100有余年

ペットライン 日清ペットフード 事業譲受

総合ペットフードメーカーとして規模拡大

ペットラインは、日清製粉グループ本社の連結子会社である日清ペットフードのペットフード事業を20年3月31日に譲受することに合意した。

この事業の譲受は、まず日清ペットフードがペットフードの販売事業を引き継ぐ100％出資の子会社を設立し、同子会社の普通株式の全てを3月末にペットラインが買い受ける。製品製造については円滑な生産と供給を図るため21年3月まで日清ペットフードが事業を運営する予定だ。日清ペットフードの社員61名（19年3月31日現在）は、日清製粉グループの事業会社各社に移る。買収額、売却額とも公表はしていない。

日清ペットフードの年商は一三五億円（19年3月期）。研究開発から製造・販売まで一貫して手掛け、猫用ドライフード「キャラット」やグルメタイプ「懐石」、犬用ドライフードの「ラン」「JPスタイル」、療法食に対応した製品等のペットフードブランドを展開している。日清製粉グループ本社は競争著しいペットフード業界のなかで、これまで培ってきたブランド、ノウハウを継承させるためペットラインへの事業譲渡を決めた。

ペットラインは三菱商事傘下の日本農産工業が100％出資する子会社。国産第一号ドライキャットフード「キャネットチップ」をはじめとする幅広いペットフードを製造・販売し、近年は「メディファス」「メディコート」等のプレミアムフードも伸びている。こうした自社ブランドに加え、日清ペットフードの高付加価値製品を拡充することでラインナップを強化し成長を図る。また、同社は日本農産工業からも動物病院向けペットフード販売事業を20年4月1日に譲り受けることとなっており、総合ペットフードメーカーとして事業規模を拡大していく方針だ。

なお、日清ペットフードは、ペットフードの受注や納品、商品販売などの営業業務を20年3月31日まで従来通り行う。

ズジャパンのカリン・ドラガン社長をはじめ総勢約250名の社員が参加。海岸約1kmを清掃し2tトラック一台分のごみの収集、分別を行った。

ガルドゥニョ社長は「設立40周年記念祝賀会」の開催（ICO有識者による講演、コーヒー産業の発展や振興に貢献した人への表彰）などを予定。さらなる需要の喚起や業界の盛上げに加え、各種業界課題解決に向けた取組みを図る。

全日本コーヒー協会 設立40周年記念イベントや情報発信など実施

全日本コーヒー協会は2020年8月に設立40周年を迎える。これを記念して同協会は日本や世界のコーヒー産業のさらなる発展に寄与する各種記念事業を実施する。

同協会は1953年に全日本珈琲協会としてスタートし、いくつかの変遷を経て1980年に社団法人となった。これまで「10月1日『コーヒーの日』」の制定をはじめ、日本のコーヒー消費の拡大やコーヒー産業の発展、国民生活の向上発展などに寄与する様々な普及啓発活動や消費振興策に取り組んできた。また、コーヒー豆の残留農薬検査やコーヒー生産国の生産管理体制の調査、コーヒーと健康に関する研究など安全安心なコーヒーを届ける活動も国際コーヒー機関（ICO）と連携しながら実施してきた。

日本のコーヒー市場は1980年の542tから18年は1019万トンと約2倍に拡大。日本の生豆輸入量は80年の19・5万tから18年には45・2万tと2.3倍に拡大した。商品もレギュラーコーヒーやインスタントコーヒーのほか、スティックなどのパーソナル商品やコンビニコーヒーなど日本独自の発展を遂げてきた。現在、日本は世界第4位の消費国で市場金額（消費者購入価格）は二兆九千億円規模に成長。世界的な異常気象などによる生産国との共存共栄の取組みも行っている。

40周年記念の主な取組みとして、「コーヒーの未来に向けて」をスローガンに会員団体と連携しながら①20年6月より東京や大阪など主要都市でコーヒーの振興を目指した〝五感で感じる〟体験型イベント開催②HP内でのコーヒー産業が直面する問題や参加企業・企業の現在の取組み状況などの情報発信③「コーヒーと健康」をテーマに従来の応募型の研究助成に加えて同協会が独自にテーマを設定した研究への助成④20年10月22日に

コカ・コーラグループ 全国で清掃活動、各社長も参加

日本コカ・コーラ及びコカ・コーラボトラーズジャパンの従業員約750名は11月18日、海岸清掃ボランティア活動を全国9か所で行った。

この清掃活動はコカ・コーラシステムが目指す「WorldWithoutWaste（廃棄物ゼロ社会）」実現に向けた活動の一つとして実施したもの。千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸にて行われた海岸清掃活動では、日本コカ・コーラのホルヘ・ガルドゥニョ社長やコカ・コーラボトラ

自然のおいしさ!!
コジマ ジャム
小島食品製造株式会社
本社 東海市名和町一番割中25
電話〈052〉603－3511
ジミー坊や

大塚製薬 社長に井上氏内定

大塚製薬の代表取締役社長に井上眞氏（現取締役副社長）が20年3月10日付で就任する。現代表取締役社長の樋口達夫氏は代表取締役会長に就く。なお、樋口達夫氏は大塚ホールディングスの代表取締役兼CEOを兼任している。

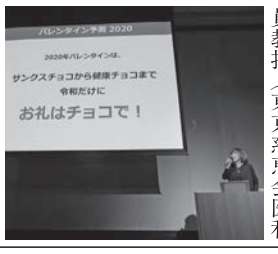
井上氏の略歴

▽1958年8月9日生まれ 大阪府出身▽長崎県立国際経済大学（現長崎県立大学）経済学部卒▽83年大塚製薬入社▽08年執行役員診断事業部事業部長▽09年常務執行役員医薬品事業部副事業部長▽13年常務執行役員ニュートラシューティカルズ事業部長▽15年専務執行役員ニュートラシューティカルズ事業部事業部長▽同年取締役兼専務執行役員ニュートラシューティカルズ事業部長▽同年ファーマバイト取締役（現任）▽16年大塚製薬取締役ニュートラシューティカルズ事業部長▽▽17年常務取締役ニュートラシューティカルズ事業担当▽同年デイヤフーズ取締役（現任）▽18年大塚製薬専務取締役ニュートラシューティカルズ事業担当▽同年ナルドベルSAS取締役会長（現任）▽19年大塚製薬取締役副社長

明治 チョコレートフォーラム2019

明治は「明治チョコレートフォーラム2019」を12月13日、都内で開催した。

フォーラムはバレンタインドレンドやチョコレートの健康効果に関する研究を専門家が紹介。市川歩美氏（チョコレートジャーナリスト）の〝20年バレンタインドレンド予測〟を始め古賀仁一郎教授（帝京大学理工学部バイオサイエンス学科）による〝高カカオチョコレート摂取による意外な美容効果〟と佐々木敬客員教授（東京慈恵会医科大学）による〝高カカオチョコレート摂取による生活習慣病予防〟に加え大澤俊彦特任教授（愛知学院大学心身科学部健康栄養学科）による〝高カカオチョコレート摂取によって得られる様々な健康効果〟について講座を実施。高カカオチョコレートの便通改善効果、美肌対策効果、低GI値食品による生活習慣病予防、血圧抑制効果、脳卒中発症リスク低減効果などを説明。なかでも日本初の大規模研究〝蒲郡スタディ「チョコレート摂取による健康効果に関する実証研究」〟は初の人による実証実験であり、わずか4週間で高血圧群の人が正常血圧の人よりも血圧低下量が大きいことが分かり注目された。



続く試食会は古代から薬として飲用されていたカカオドリンクの試飲や、日々の健康維持につながる低GI（GI値55以下の食品）高カカオチョコレートカレーの試食を行い、具材を変えるだけで栄養バランスの良い健康的な食卓となると提案した。

厚木市で社員家族を対象の環境体験学習

コカ・コーラボトラーズジャパンは11月9日、神奈川県厚木市で同社の社員家族を対象にした環境体験学習〝コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトin神奈川 あつぎ〟を開催した。

同取組みは水源保護活動の一環として、厚木市森林組合や神奈川県、厚木市の協力を得て、楽しみながら学べる環境教育の協働プログラムのイベント。参加者は植林体験や間伐素材を使った木工製作体験を通じ自然や森を守ることの大切さを学んだ。

家庭用小麦粉価格改定

輸入小麦の政府売渡価格が19年10月より引き下げられた一方で、物流費や包材費などの生産・物流コストは上昇している。この状況を鑑みて製粉メーカー各社は家庭用小麦粉価格の価格改定を決断した。

日清フーズ
家庭用小麦粉の製品価格を2月1日出荷分より約0.6～1.2％引き下げる。

日本製粉
家庭用小麦粉の製品価格を2月1日出荷分より約1～2％引き下げる。

昭和産業
家庭用小麦粉の製品価格を2月1日出荷分より約1～2％引き下げる。

街角経済

令和2年につなぐ

令和元年の師走も残るのは一週間。今日はクリスマスイブとあってクリスチャンでもないのにそれなりに楽しい一日である。商売にとっては販売促進に励むときである。

ところが、どうも今年の歳末商戦は今一つ売上が伸びない――?。と聞く。歳末らしい忙しさ、手応えが感じられないというのだ。確かに、活気に乏しさがある店もあるようだ――というのは厳しい見方か。

年末に心配されたアメリカと中国の貿易摩擦は、一時的にしても収まって越年する見通しから、年末景気を占う株価はアメリカも日本も強気を維持しており、12月18日の日経平均株価は今年最高の二万四〇六六円を記録している。

景気は悪くないムードであるが、消費者の買物意欲が乏しければ、その原因の検証を行い、元気な対策を打ち立てて実行することが令和2年の繁盛課題である。

（大橋隆士）

本気のしるし。
金印わさび
KINJIRUSHI BRAND
お問合せは、金印物産お客様相談室まで
フリーダイヤル 0120-021-887
http://www.kinjirushi.co.jp/
ISO22000 認証 JP17/030408
金印わさび㈱ 金印アグリ㈱